

SPANCRETE

CORPORATION

株式会社スパンクリートコーポレーション

平成21年3月期第2四半期業績資料





会社概要及び沿革

<会社概要>

本 社	東京都文京区本郷四丁目9番25号
営業所	宇都宮営業所 仙台営業所
工場	宇都宮工場 岩瀬工場
設立	1963年3月
資本金	32億9,582万4,500円
従業員	138名(外派遣社員60名)
事業内容	スパンクリート事業 不動産事業

<沿革>

1963年	3月	設立 資本金1千万円 商号 スパンクリート製造株式会社
1964年	2月	宇都宮市に生産設備完成 営業開始
1983年	3月	スパンクリート合成床工法販売開始
1989年	11月	茨城県岩瀬町(現 桜川市)に岩瀬工場完成
1991年	2月	社名を現社名に変更
1991年	9月	株式を公開 日本証券業協会店頭登録(JASDAQ)
2004年	3月	明星プレテック(株)の株式を100%取得
2005年	5月	宇都宮工場・岩瀬工場・設計部 ISO9001取得
2006年	3月	プレテック(株)解散
	10月	普通株式1株を2株に分割



工場

宇都宮工場

生産能力 月産約55,000m² (18,608坪)



岩瀬工場

生産能力 月産約10,000m² (19,638坪)





所有賃貸ビル

台東区
台東オリエントビル



8階建 1,466.4㎡

新宿区
30山京ビル



8階建 1,887.1㎡

文京区
駒込スパンクリートビル



9階建 1,621.5㎡



経営成績の概要

当第2四半期の業績は、売上高21億1百万円(前年同期比7.0%減)営業利益1億1千6百万円(前年同期比1.0%減)、経常利益1億5千6百万円(前年同期比20.5%減)と減収減益となりました。

〈スパンクリート事業〉

主力のスパンクリート事業は、マンション建設需要減の影響もあり、売上高は19億7千2百万円(前年同期比7.6%減)と減収となりましたが、3年越しで努力してきた販売価格の改定が進展、かつ、第2次中期経営計画の主要販売政策「流通倉庫、工場、防音壁等の相対的に粗利益率の良好な壁板拡販へ注力」が一部功を奏し、営業粗利益率が大きく改善したこと等から、原材料費の値上げ等工場のコスト圧迫要因はあったものの、営業利益5千3百万円(前年同期比2.0%増)と僅かながら増益を確保することができました。

〈不動産事業〉

貸しビル3棟の稼動が好調を持続、大規模改修の償却負担増を吸収して安定収益を計上しており、売上高1億2千9百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益6千8百万円(前年同期比2.9%)と増収、利益は若干の減益となりました。

四半期純利益につきましては、米国発の金融危機に端を発した株式市況の低迷による有価証券の強制減損処理等の特別損失1億4千6百万円を計上したため大幅に減益となり、7百万円(前年同期比89.3%減)の計上に留まりました。



生産・出荷・売上 数量比較

単位: 千 m^2

	08年3月期 第2四半期	09年3月期 第2四半期	増減
生産	354	332	▲22
出荷	362	314	▲48
売上	352	308	▲44



比較第2四半期損益計算書

単位：百万円

	08年3月期 第2四半期		09年3月期 第2四半期	増減	摘要
売上高	2,260	売上高	2,101	▲159	マンション建設需要減の影響もあり減収
売上原価	1,859	売上原価	1,701	▲158	
一般管理販売費	283	一般管理販売費	283	0	
営業利益	117	営業利益	116	▲1	
営業外収益	98	営業外収益	68	▲30	
営業外費用	19	営業外費用	27	8	
経常利益	196	経常利益	156	▲40	
特別損益	▲45	特別損益	▲146	▲101	株式市況の低迷による有価証券の強制減損処理等の計上
税引前中間純損益	150	税引前四半期純損益	10	▲140	
法人税・住民税	82	法人税等	3	-	
法人税等調整額	1				
中間純損益	66	四半期純利益	7	▲59	



比較第2四半期貸借対照表(資産)

単位:百万円

	08年3月期 第2四半期	09年3月期 第2四半期	増減	摘要
流動資産	3,871	3,713	▲158	
現金及び預金	1,279	1,491	212	
売掛債権	1,614	1,292	▲322	手形は全て期日取立てしております
有価証券	554	503	▲51	
棚卸資産	341	352	11	
その他	83	75	▲8	
固定資産	6,802	6,289	▲513	
有形固定資産	4,713	4,621	▲92	
建物・機械	1,385	1,349	▲36	
土地	3,163	3,114	▲49	
その他	165	158	▲7	
無形固定資産	25	17	▲8	
投資その他	2,062	1,650	▲412	
投資有価証券	1,822	1,374	▲448	時価の下落等で減少
その他	240	276	36	
資産合計	10,673	10,003	▲670	



比較第2四半期貸借対照表 (負債・純資産)

単位: 百万円

	08年3月期 第2四半期	09年3月期 第2四半期	増減	摘要
流動負債	1,593	1,426	▲167	
買掛債務	246	225	▲21	支払手形は発行していません
短期借入金	1,000	900	▲100	100百万円を返済
その他	347	301	▲11	
固定負債	1,118	841	▲277	
長期借入金	125	25	▲100	
その他固定負債	993	816	▲177	
負債合計	2,711	2,267	▲444	
純資産の部	7,961	7,735	▲226	
資本金	3,295	3,295	0	
資本剰余金	3,710	3,710	0	
利益剰余金	1,311	1,317	6	
自己株式	▲254	▲281	▲27	
土地再評価差額金	▲234	▲234	0	
有価証券評価差額金	133	▲72	▲205	
負債・純資産合計	10,673	10,003	▲670	

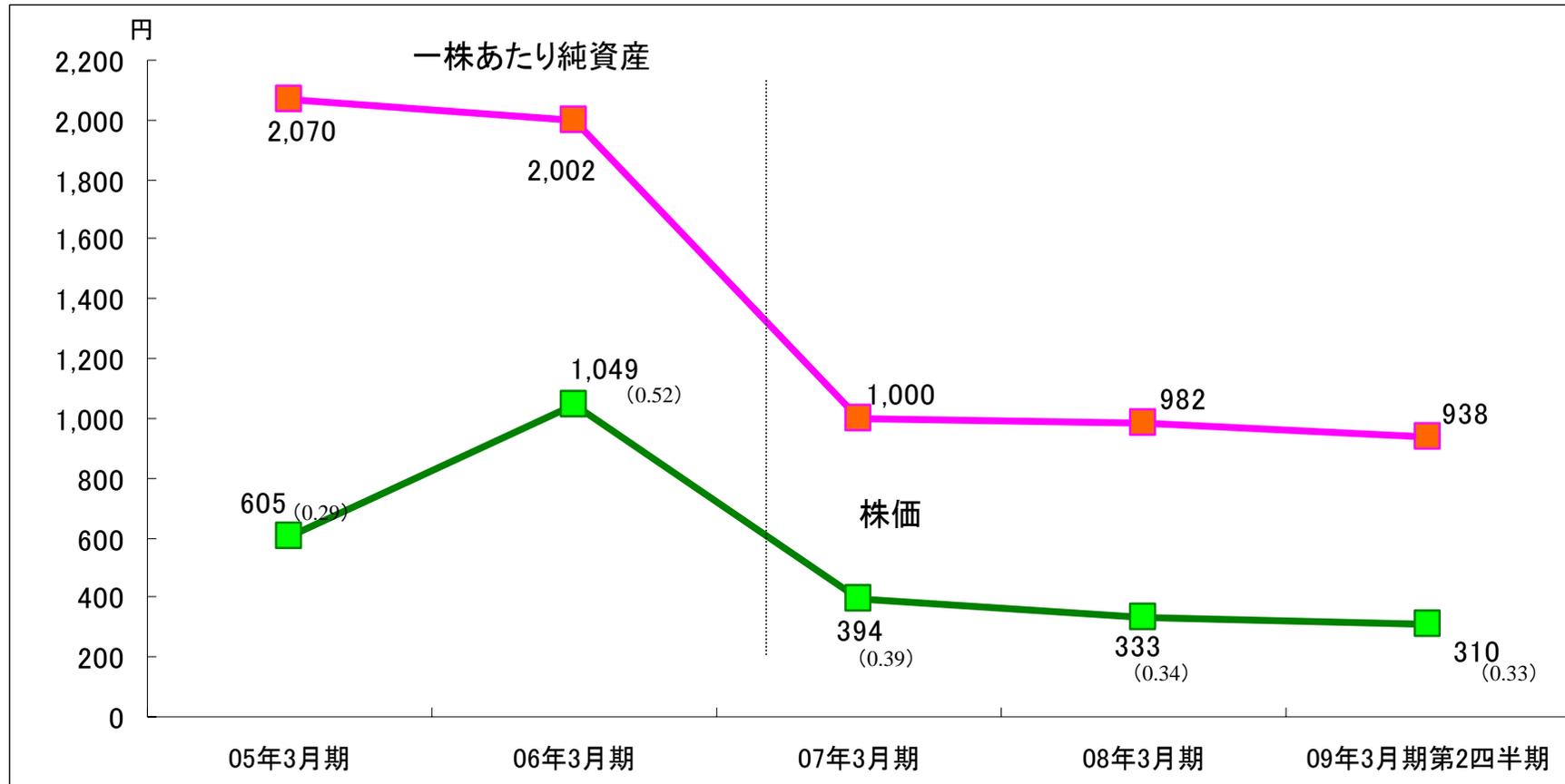


中間営業成績及び財政状態

		08年3月期 第2四半期	09年3月期 第2四半期	増減
営業成績	売上高(百万円)	2, 260	2, 101	▲159
	営業利益(百万円)	117	116	▲1
	経常利益(百万円)	196	156	▲40
	四半期純利益(百万円)	66	7	▲59
	1株当たり四半期純損益(円)	8. 18	0. 88	—
財産の状況	総資産(百万円)	10, 673	10, 003	▲670
	純資産(百万円)	7, 961	7, 735	▲226
	1株当たり純資産額(円)	990. 92	938. 53	—
	自己資本比率(%)	74. 6	77. 3	2. 7
	営業キャッシュフロー(百万円)	206	▲211	—
	投資キャッシュフロー(百万円)	▲98	▲6	—
	財務キャッシュフロー(百万円)	▲175	▲217	—
	現金同等物残高(百万円)	1, 704	1, 894	—



一株あたり純資産・株価(PBR)推移



06年10月普通株式1株を2株に分割しました



主要工事実績

市川駅南口地区第一種再開発事業A・B街区	72,000	m ²
川崎水江町物流倉庫新築工事	40,000	m ²
CHIBA CENTRAL TOWER	32,000	m ²
シティテラス昭島	28,000	m ²
(仮称)北品川3丁目計画	20,000	m ²
クレッセント川崎タワー	18,000	m ²
プラウドタワー練馬	18,000	m ²
THE 大宮タワーズ	17,000	m ²
新三郷物流センター	13,000	m ²
株式会社キョクレイ 冷蔵庫	8,000	m ²



スパンクリート使用例 床



市川駅南口地区第一種再開発事業A・B街区



川崎水江町物流倉庫新築工事



スパンクリート使用例 壁



JALいみず野小杉低温倉庫



東横イン敦賀駅前



スパンクリート使用例 壁



東北幹 膝森路盤



北陸幹(糸・魚) 大家庄BL



09年3月期見通し

単位:百万円

	09年3月期見通し
売上高	4,200
経常利益	205
当期純利益	20

当社を取り巻く経営環境が、本業のみならず金融面でも逆風が続くものと予想されることから減収減益を見込んでおります。

